平成３０年度　東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎経営計画

1　附属学校の役割

○　学部・大学院における研究を附属学校で実際の指導に取り入れ、その結果を学部・大学院の教育研究に反映していく実験・実証校としての役割。
○　学部・大学院の教育研究に基づいて、教育実習生を指導する教育実習校としての役割。
○　一般公立学校と同様に普通教育を行う公教育の役割。
○　地域の学校と連携して教育、研究を推し進める役割。

2　東京学芸大学附属学校教育目標

東京学芸大学附属学校は、在学する幼児・児童・生徒に普通教育を施すとともに、大学と連携して実証的研究や実践的研究に取り組むことにより、

○　協働して課題を解決する力
○　多様性を尊重する力
○　自己を振り返り自己を表現する力
○　新しい社会を創造する力

の４つの力を持った次世代の子どもを育成する教育を推進する。

3　教育目標

人や身近な環境にかかわる中で、主体性と協同性を育みながら、明るく伸び伸びと自己を発揮する子どもを育てる。

4　育てたい幼児像

教育目標および幼児期の終わりまでに幼稚園教育において育みたい３つの資質・能力（「知識及び技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力・人間性等」、）を踏まえ、本園舎において育てたい幼児像を以下のように策定する。

○　身近な人や環境とかかわりながら、心を動かし、様々な感情を味わい、自分のしたいことや周囲の人の思いを感じられる子ども。（感動する子ども）
○　豊かな体験と様々な考えに触れることを重ねながら、試行錯誤を深める子ども。（考える子ども）
○　自分のしたいことに取り組むと同時に、他者とのかかわりの中ですべきことにも目を向けて行動する子ども。（行動する子ども）

5　中期経営目標

○　大学との連携に基づいた質の高い研究・教育のフィールドとして積極的に活用されるために、教員養成・教員研修・教育支援者養成機関としての効果的な運営システムを構築する。
○　次世代育成教育を実践する場としての実質的地位を確立するため、現代的教育課題を踏まえた幼児教育の重要性やその意味等について発信し、それらを踏まえた質の高い教育実習モデルの構築や学部・大学院における研究活動や授業、教員研修へのフィードバックを実施する。
○　さまざまなニーズを抱える保護者や地域との連携を、子育て相談、未就園親子活動の実施等で深め、社会貢献に資する幼児教育の質をさらに充実させるための方策の検討を図る。
○　教職大学院との連携を行い、教員養成高度化のためのフィールドとして貢献する。

6　平成 30 年度経営目標

（１）園運営の目標

◎　教職員・保護者・地域及び大学との連携を図りながら教育及び運営を推進し、各種配布物の発行や HP を年間 20 回以上更新する等を通じてその成果を積極的に発信する。
○　教職員の仕事内容のバランスを学期ごとに分析・検討し、必要に応じて見直しを図りつつ、適正な勤務体制を整備する。

（2）教育活動の目標

◎　本園舎の教育目標、及び、育てたい幼児像を踏まえて、新しい幼稚園教育要領に即した教育課程･内容を着実に実施するとともに､全教員による保育打ち合わせを月平均2回以上実施し、幼児や保護者の実態やニーズを踏まえた新たな教育活動を実施する。

○　保護者や大学・地域との連携を図りながら、障害のある幼児の受け入れと、共に育ちあう教育を実践する。

（3）研究活動の目標

◎　現在、幼児教育に求められている「しなやかな心と体をはぐくむ保育」という研究課題のもとで、本学教員との連携を図りながら、幼児期に必要な心と体の育ち、及び、それに対応する教師の指導内容について、月平均2回の研究会を開催して調査・研究を行い、その成果を研究協議会、研究紀要、リーフレット等で発信し、社会へ還元する。

○　学校教育系初等教育教員養成課程幼児教育選修の所属教員と附属幼稚園が連携し、大学入学時から4年次までを通した質の高い幼稚園教員養成を実現するために、本園舎における効果的な教育実習の内容や方法等について研究する。

○　本園舎における教員の効果的な研修を推進するために、年2回以上の保育検討会の実施や、他園研究会参加により研修支援体制の整備を図る。

（4）学生の教育・支援活動の目標

◎　次世代育成教育を実践する教員養成機関として、学校教育系・教育支援系学生の参観等を受け入れるとともに､学部教育､大学院教育の効率的な活用に結びつく運用システムを構築する。

○　現代的教育課題を踏まえた幼児教育の重要性やその意味等について発信するために、学校教育系学生だけではなく、大学教員との連携にもとに、本園舎を活用した教育支援系学生・大学院生に対する教育プログラムを構築する。

○　大学教員と連携し、教育・研究フィールドとして本園舎を活用した際の学部学生による学びの質評価を行う。

○　本園舎を教職大学院の教職専門実習フィールドとして位置付け、教職大学院生の受け入れを行うとともに、教員と連携しながら学びの質評価を行う。

（5）社会貢献活動の目標

◎　小金井市、国分寺市、小平市の近隣3市に所在する幼稚園・保育所・こども園等との連携のために地域参加者を主体にした研究協議会を開催し、成果と課題を検証する。

○　未就園児に対する教育活動として、大学教員との協働で実施する「未就園児の会　にこにこふ～よん」を年間10回、各回親子登録50組の規模で開催し、成果と課題を検証する。